



私が見た 図書館

短期大学英語科2001年度卒業
山本 麻衣子

桜の季節となりました。新しい環境になり、もっと沢山のことを知りたい、新しいことを始めたいと思う人もいるでしょう。図書館の中は、私の想像を超えるとも沢山の情報が詰まっています。図書館を利用するのは授業の予習、復習又はレポートの為の情報収集の時だけという人も少なくないと思います。しかし、私は、授業の為に利用するだけにとどまらず、書庫の中や閲覧室をご覧になることをお勧めします。なぜなら、沢山の本の中には新しい発見があるからです。



閲覧室には、京都に関する本のコーナーが設置されています。高知出身の私にとっては、このコーナーはとても興味があり、そして、活用出来るものです。このコーナーの本を読んで京都の歴史などの知識を増やすと、街中を歩くことがとても楽しくなります。なぜなら、普段何気なく通っている所が、歴史に登場する有名な場所だったことなど、新しい発見があるからです。その他にも音楽、ファッション、経済などの雑誌や新聞など、新しい情報も手に入れることも出来ます。

書庫には閲覧室に配架されていない本や、多くの文庫本、そして勉強に役立つ本から、趣味に関する本まで、様々な分野の本があります。今まで書庫を利用したことがない人も、一度入られると、必ず、好奇心をかきたててくれる一冊とめぐりあえることが出来ると思います。

興味があったら、図書館のコンピュータ検索を利用して、簡単に本を見つけることも出来ます。図書館の中から、新しい発見を探してみたいかでしょうか。

海外の図書館レポート ⑨

ジョージア大学の図書館について

留学生別科 エドワード ワトソン

ジョージア大学は、ジョージア州の大学では一番大きいので、図書館も大きいです。科学図書館と法学図書館と中央図書館の3つの図書館があり、400万冊もの本があります。中央図書館はジョージア大学のキャンパスの伝統的な場所である北側にあり、とてもきれいで、よく知られています。「ロードトリップ」という映画は大学生活についての映画で、ジョージア大学のキャンパスの北側で撮影されました。「ロードトリップ」には中央図書館も映っています。



ジョージア大学の図書館は、アメリカの大きな大学の図書館とほとんど同じです。パソコンを使えるところと勉強するところがたくさんあり、期末試験の前に図書館へ行くと勉強している学生が多いです。普通は午前7時半から午後12時まで開いていますが、期末試験の時には深夜2時まで開いています。

ジョージア大学は1940年にPeabody賞という賞を設けて、毎年テレビとラジオの放送関係者に贈っています。Peabody賞はアメリカではたいへんよく知られた賞です。中央図書館では今までの受賞の記録を見ることができます。また図書館には多くの貴重な資料が保存されていますので、ジョージア大学へお越しの時は、是非一度お立ち寄りください。